



グループホーム『希望の家くぼ』竣工



グループホームの玄関



一部吹き抜けの天井が特徴

初めての障害者グループホームを開設して20年、地域の皆さまに支えられながら歩みを重ね、これまでに7ホームを整備してまいりました。そしてこの度、令和8年5月より市原市北久保町会の皆さまにもご理解とご協力をいただき新たなグループホーム（男性6名定員）を開設することとなりました。本ホームの特徴として、独立した玄関から部屋に出入りでき、トイレ、浴室を備え障害特性



モダンなキッチン

や個々の生活リズムに応じた支援が可能な部屋一室を作りました。他の居室についてもプライバシーを守りながら落ち着いた生活が送れる環境を整えました。入居される利用者の



皆さまは、このホームから、世話人さんが作ってくれたお弁当を持ってそれぞれの日中活動先へと向かい、夕方にはまたホームに戻ってくるという生活を送ります。休日には地域へ出て買い物や食事等を楽しみます。このように住まいは「生活の場」とすると同時に「心のよりどころ」と考えています。利用者の皆さまが安心して自分らしく暮らせる住まいづくりを大切に、地域に根ざした温かい支援を続けてまいります。今後ともご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

学園イベント

クリスマス会&忘年会



今年もクリスマス・忘年会を開催しました。ゲストの Swing Brass 姉崎さまのステージでは、童謡から最新のヒット曲まで披露され、利用者の皆さんは食事の手を止めて聴き入っていました。後半にはプレゼントやケーキも登場。笑顔いっぱいの楽しいひと時になりました。



民生委員見学



横浜市泉区の30名ほどの民生委員の方々が、吉沢学園の見学に来られました。民生委員の対象になる方の多くが高齢者との事で、知的障害者の入所施設とはどういう場所なのか?また施設入所の要件や利用料などを熱心に質問されていました。見学者の中からは「綺麗にされていて驚きました」など、現場で働く者にとって非常に嬉しいお言葉もいただきました。

高滝神社に初詣



吉沢学園新年の幕開けといえば地域の氏神様への新年のご挨拶です。境内で交わす「明けましておめでとう」「今年も宜しくね」の挨拶にとっても温かい気持ちになりました。

市のスポーツ大会



市原市障害者スポーツ大会に参加しました。玉入れやリレーなどで競技に全力で取り組み、みんなで大健闘!持てる力を出し切り、笑顔あふれる充実した一日を過ごしました。

学園イベント

助成金をいただきました

ちばぎんハートフル福祉基金からフードプリンター、ALSOK ありがとう運動財団から業務用冷凍冷蔵庫に助成金をいただきました。



どちらも TABI Café のパン工房にて使用しています。新たに始めたケーキのデコレーションや、クッキー等の焼き菓子にオリジナルプリントできるよう、日々勉強中です。



フードプリンター



冷凍冷蔵庫



Café もみの木



保護者会バザー

当日はあいにくの空模様でしたが、会場は熱気で一杯! バザー品に新鮮な地域野菜からお米など多くの商品が集まりました。香ばしい焼きそばや温かい豚汁、焼つくねも大好評。地域との絆が深まる賑やかな1日となりました。



【心こめて】紙袋で季節をお届け!

もみの木生活介護利用者様が、季節の装飾を施した手作り紙袋を作成しています。真剣な眼差しで作業に取り組み、楽しみながら仕上げた力作ばかりです。お買い物の際には、紙袋にもご注目下さい!!

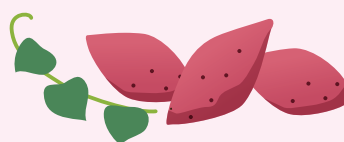
ファミリア TABI



実りの秋、芋掘り日和

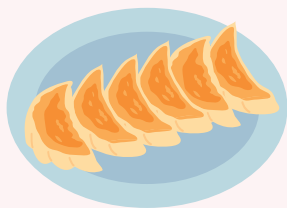


ファミリア TABI では、毎年恒例のお芋の収穫を行いました。春に一本一本苗を植え、夏の暑い日にも毎日水やりをして大切に育て、立派なお芋がたくさん収穫できました。穫れたお芋は、利用者さんがおやつとして味わったほか、各所の販売でも大好評でした。



グループホーム

一泊旅行 ～餃子と水族館の旅～



初日は『餃子の街』宇都宮へ!焼き餃子はもちろん、揚げ餃子に蒸し餃子、水餃子と餃子のオンパレードを堪能しました。宿泊先では、恒例のカラオケ宴会!食事を楽しみつつ、順番に各々の十八番を歌い上げ、ディナー



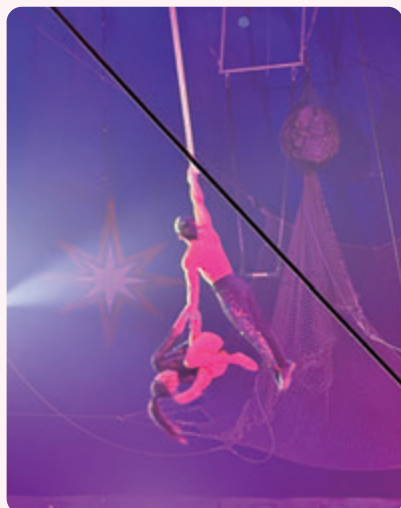
ショーさながらの盛り上がりでした。二日目は大洗水族館へ!迫力あるジャンプのイルカと、愛嬌あるアシカのショーに歓声をあげたり手拍子をしたりと、楽しんで鑑賞しました。

笑顔が溢れたクリスマス会

12月20日にグループホームのクリスマス会を開催しました。綺麗な飾りでキラキラしている会場の中、ステージ発表や食事を保護者と一緒に楽しみ、会場は大賑わいです!サンタさんからクリスマスプレゼントを貰い、皆さんの喜びと沢山の笑顔が溢れた会になりました♪



サーカス観覧



グループホームの女性利用者とサーカスに行って来ました。迫力満点の空中ブランコやコミカルな笑いを誘うジャグリングなど、とても見応えがありました。帰りの車では、「車、バイク、ブランコすごかったね」と嬉しそうに目を輝かせていました。



ジョイサポート三和

共に学び、共に成長しよう！技能実習生を迎え入れました！



令和7年12月17日、ジョイサポート三和の生活介護で技能実習生を2名受け入れました。二人の実習生は、東南アジアのミャンマーから来日しました。二人とも二十歳と若いですが、とても仕事熱心で明るい性格です。日本語はまだまだ勉強中ですが、職員や利用者とも一生懸命にコミュニケーションを図り会話を楽しんでいます。これから、3年間の実習になりますが、しっかりと介護技術を身に付けて立派な介護支援員になってもらいたいです。



クリスマス会



冬晴れの年の瀬、クリスマス会が催されました。生活介護と就労継続支援B型、それぞれの趣向を凝らした出し物に温かい拍手が送られます。ボランティアによる大正琴の調べも、会場の心を一つに繋いでくれました。保護者の皆さまと囲む昼食やサンタからの贈り物。皆さんの柔らかな笑顔が静かに咲いた、心温まるひとときでした。

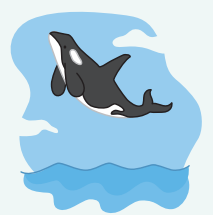


鴨川シーワールドへ外出



就労継続支援B型で鴨川シーワールドへ外出しました。

水槽を泳ぐ魚やクラゲ、アザラシなどを鑑賞して、記念撮影やお土産を購入して1日を満喫しました。迫力満点のシャチショーでは、飛んでくる水しぶきに歓声を上げ思いきり楽しみました。



児童発達支援事業&放課後等デイサービス

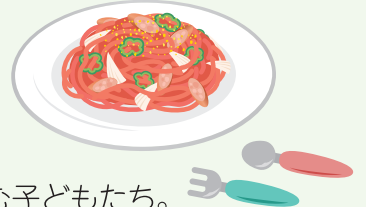
こどもステーション東国分寺台

Café もみの木にて 小湊鉄道を望む特等席

11月24日、小湊鉄道に乗って『Caféもみの木』に行きました。

上総三又駅で切符を買
い、車窓からの風景を楽しむ子どもたち。

Caféもみの木で美味しいランチをいただいていると、目の前を小湊鉄道が通り、「小湊鉄道だ！」と嬉しそう。楽しいランチ会でした。



こどもステーション菊間

ドイツ村の自然と ふれあった一日

お天気にも恵まれ、秋の遠足はドイツ村に行って来ました！

「あれ乗りたーい！」と沢山のアトラクションを見てわくわくが止まらない子ども達でした。



こどもステーション三和

感動体験鴨川シーワールド遠足！

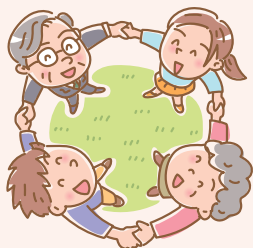
11月に鴨川シーワールドに行ってきました。お天気が良かったので海を眺めながら外でお昼ご飯♪予定していたショーはお客様が多く観ることができませんでしたが、お土産を買ったり、館内や海辺を散策したり、子ども達はニコニコ。好きなエリアを満喫してきました！



中核地域生活支援センターいちほら福祉ネット (千葉県委託事業)

千葉県中核地域生活支援センター大会 in2025 「その人らしく地域で生きる～地域生活支援へのつながりとひろがり～」

令和7年10月28日、千葉県社会福祉センターにて恒例の中核大会が開催され、200名もの方が参加されました。基調講演は日本福祉大学の平野隆之客員教授。高校内で実施している「校内居場所カフェ」の報告や中核センターはじめ地域の多様な社会資源がとりくむ地域づくりにフォーカスしシンポジウムを行いました。



障害者グループホーム等支援事業 (千葉県委託事業)

第17回千葉県障害者グループホーム大会 (20周年記念)

1月23日に千葉県社会福祉センターにて、第17回千葉県障害者グループホーム大会「これからのグループホームを考える～10年後の障害者グループホームの理想とは～」が開催され、参加者は200名超え。どのプログラムもライブ感のある熱い議論がされ、参加者の真剣なまなざしが印象的でした。



浅井小向デイサービスえん (地域密着型通所介護事業)



採れたて野菜、収穫中!

浅井小向デイサービスえんでは、大根畑の追肥作業を行いました。肥料の購入や調合等、利用者様からアドバイスをいただき、取り組んだ様子です。大きく育った大根を見てもらおうと、「上手くできたね。」と、嬉しそうにされていました。



生活困窮自立支援事業 いちはら生活サポートセンター (市原市委託事業)

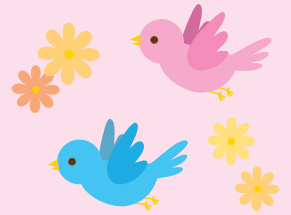
地域とともに育む子どもたちの学びと居場所



モルック



みそ作り



ディズニーランド



未来くらぶ南部教室では、毎月1回のペースで多彩な体験学習を行いました。帝京平成大学の協力のもとに開催されたモルック（木のピンを倒して50点を目指す、子どもも大人も楽しめるフィンランド生まれのスポーツ）では、大学生も参加して子どもたちと交流しました。みそ作りでは諏訪商店の方を講師にお迎えし、伝統の味や発酵の知恵に触れる貴重な学びとなりました。クリスマスギフトづくりとディズニーランドへの外出は社会福祉法人ききょう会からの寄付により実現し、子どもたちは特別な体験を通して感謝の心を育みました。これらの活動は、意欲や協調性では測れない力を日々の経験を通して育てることに加え、子どもたちが安心して過ごせる“居場所”としての役割も大きく果たしています。改めて地域の皆さまにお礼申し上げるとともに、来年度は連携をさらに広げ、より良い学びと居場所づくりを進めてまいります。



法人 HP、Facebook、求人情報はこちらから ▶

